

3歳児健康診査について

3歳は、自我が芽生え、それまでの親への依存状態から離れて、社会性や協調性を身につけ始める大事な時期です。走る、跳ぶなどの運動に加え、積み木を積み上げる、鉛筆で丸を描くなど細かい動作もできるようになります。その一方で、得意なこと、苦手なこととはつきりとしてきて、「ほかの子と比べてうちの子はこんなことが苦手」など感じることも増えてくる時期ではないでしょうか。

3歳児健診では、身長や体重などの発育状態、心臓の音などの内科健診に加えて、視力や聴こえの評価、言葉の発達や理解力、簡単なコミュニケーションなど、子供の成長の度合いを総合的にチェックします。簡単にいうと、「身体」「心」「言葉」の評価です。

健診は、「こんなにちは」のあ

いさつから始まり、「何歳ですか」などの簡単な質問や「お母さんとお話ししている間、座って待っていられるかな」とお子さんとコミュニケーションを取りながら行うため、お子さんの成長を感じる良い機会になると思います。

毎日の生活の中で感じている「うちの子はこんなことが苦手」「まだできないことがある」など「ほかの子との違い」「育てにくさ」があれば、医師や保健師に何でも相談してください。市では、内科健診は市内の協力医療機関で受診することができます。いつもの慣れている先生の方がリラックスして受診や相談がしやすいのであれば、ぜひかかりつけのクリニックなどを利用してください。

吹田市医師会

稲富いなとみ

直ただし